

# 事務事業評価シート(平成19年度実績分)

## (1) 事務事業の名称・位置づけ【Plan1】

白色のセルのみ入力してください。(コメントを見ながら入力)

事務事業コード	事務事業名	担当課	担当係名	所属長(課長等)名	担当者係長名				
03218	ごみ処理負担金(し尿)	住民税務課	生活環境係	野澤 修一	赤羽 博				
		一次評価年月日	平成 20 年 7 月 30 日	連絡先(内線)	2128				
事務事業実施の根拠・位置づけ	予算における位置づけ (会計区分・事業コード・事業名)	会計区分		事業コード	事業名(歳出予算見積書)				
		<input checked="" type="checkbox"/> 一般	<input type="checkbox"/> 特別	0461	塵芥処理事業				
	<input type="checkbox"/> 一般	<input type="checkbox"/> 特別	#N/A						
	第四次総合計画後期基本計画の施策体系における位置づけ	章	(コード選択)	3章	夢のある地域形成				
		節	(コード選択)	1節	町の基盤を整備する				
		項[基本施策]	(コード選択)	314	下水道の普及				
主な取り組み		(コード選択)	3143	施設の維持管理					
関連する計画等への位置づけ	<input checked="" type="checkbox"/>	第四次行財政改革大綱	<input type="checkbox"/>	3ヶ年実施計画	<input type="checkbox"/>	主要業務報告	<input type="checkbox"/>	その他	
事務期間	(開始)	37 年度	~ (終了予定)	年度	L	開始時期不明	<input checked="" type="checkbox"/>	終期設定なし	

## (2) 事務事業の内容(目的と手段を把握します。【Plan2】

①対象(〜に対して)……この事務事業はどんな人(誰・何)を対象に行っていますか。

湖北衛生センター

②目的(意図)(〜という状態にするために)……この事務事業のサービスを提供することによって対象をどういう状態にしたいのですか。

湖北衛生センター(し尿処理施設)のし尿処理を適切に行う

③手段(事業内容)(〜を行う)……上記①の対象に対して、どのような手段で②の目的(意図)を達成するか、事業の実施内容(サービスの概要)を記入します。

1	湖北行政組合に湖北センター(管理主体:湖北行政組合)の処理負担金を支払う
2	
3	
4	

## (3) 活動指標の設定と推移……(2)の③サービスの概要(手段)の指標を表します。【Do1】

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度	
		18年度	19年度	20年度(見込み)	21年度(見込み)	22年度	年度(見込み)
① 指標名	湖北衛生センター年度別負担額(辰野町分)	千円	55,215	56,523	48,942	43,363	38,420
説明	経常費・建設費分担金	目標値設定の根拠	過去3年間からの推計				
② 指標名	湖北衛生センター年度別負担額計(構成市町:岡谷市・下諏訪町・辰野町分)	千円	109,275	112,764	97,607	87,163	77,837
説明	経常費・建設費分担金	目標値設定の根拠	過去3年間からの推計				

## (4) 成果指標の設定と推移……(2)の②目標(意図)の達成度を指標で表します。【Do2】

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度	
		18年度	19年度	20年度(見込み)	21年度(見込み)	22年度	年度(見込み)
① 指標名	湖北衛生センターの年度別し尿処理量(辰野町分)	キロリットル	3,833	3,640	3,243	2,891	2,576
説明	浄化槽汚泥及び農業集落排水施設汚泥を除去	目標値設定の根拠	過去3年間からの推計				
② 指標名	湖北衛生センターの年度別し尿処理量全体量(構成市町:岡谷市・下諏訪町・辰野町分)	キロリットル	6,670	6,368	5,648	5,009	4,444
説明	浄化槽汚泥及び農業集落排水施設汚泥を除去	目標値設定の根拠	過去3年間からの推計				

## (5) 総事業費(コスト)の推移【Do3】

※事業費の算定方法

決算書・予算書等に記載の数字

按分計算による算定

○総事業費(コスト概算)	=①+②	(千円)	平成18年度決算	平成19年度決算	平成20年度見込み	平成21年度見込み						
			55,711	57,023	49,447	43,868						
対前年比		%		102.4	86.7	88.7						
A) その他の財源(国庫支出金・県支出金・地方債・分担金・使用料・雑収入など)			1,276									
B) 一般財源(税金)			54,435	57,023	49,447	43,868						
①事業費		(千円)	55,215	56,523	48,942	43,363						
対前年比		%		102.4	86.6	88.6						
②人件費の概算		(千円)	496	500	505	505						
対前年比		%		100.9	101	100						
			課長	課長補佐	係長	一般職員	延べ人数	年間人件費	年間人件費	年間人件費	年間人件費	
			H19 H20 H21	H19 H20 H21	H19 H20 H21	H19 H20 H21	H18 H19 H20 H21	/	/	/	/	
町職員(正規職員)			0.02 0.02 0.02	0.00 0.00 0.00	0.02 0.02 0.02	0.00 0.00 0.00	0.05 0.05 0.05	0.05 0.05 0.05	496	500	505	505
臨時職員			人数及び人件費の算出は別シートで計算となっています。(人件費計算式)シート				0.00 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00	0	0	0	0

指標化

**(6) 項目別評価 [Check]**

視点	項目別評価	判定	評価結果
必要性	1. 事業のニーズに変化はありますか	C	A 増加傾向にある      B 変化していない C 減少傾向にある      D かなり減少している
	2. 町(行政)が関与する必要性がありますか	A	A 町が主体となる必要がある      B 町以外の主体で実施できるが町の関与は必要 C 町も関与するが関与の度合いを縮小できる      D 町の関与のあり方を再検討する
目的妥当性	3. 対象の設定は妥当ですか	A	A 対象は現在の設定が妥当である      Bの場合その具体的な内容をお書きください B 対象の変更の余地がある →
	4. 目的(意図)の設定は妥当ですか	A	A 目的(意図)は明確で上位の施策に合致している      Bの場合その具体的な内容をお書きください B 目的(意図)は上位の施策に合致していない点がある →
有効性	5. 期待された成果は得られましたか(成果指標の目標値への達成度)	A	A 期待したとおりの成果があった      C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 概ね期待したとおりの成果があった      構成市町(岡谷市・下諏訪町・辰野町)の施設利用割合の約50%は辰野町が占める。利用割合の減少が急務。 C 期待したほどの成果が得られなかった → D 成果が少なく今後も向上する見込みがない →
	6. 連携可能な事務事業はありますか(町以外の取り組みも含めて)	B	A すでに実施している      A・Bの場合その具体的な内容をお書きください B 今後は可能性がある →      ・下水道等水洗化の普及。 C 今後可能性はない      ・下水道施設への投入。
効率性	7. 成果を下げずにコスト(事業費・人件費)を削減できますか	A	A 余地なし      C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 当面は余地なし      構成市町(岡谷市・下諏訪町・辰野町)の施設利用割合の約50%は辰野町が占める。利用割合の減少が急務。 C 一部余地あり →      ・分担金の算出は、し尿処理量に基づき按分される。 D かなり余地あり →      ・下水道等に接続可能な世帯の下水道等への接続が増加しない限り分担金の負担割合は減少しない。 ・下水道区域内のし尿処理料金の割り増し等を行い、下水道への接続を促す。
公平性	8. 受益者負担は適切ですか	C	A 検討の余地なし      C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 当面検討の余地なし      ・分担金の算出は、し尿処理量に基づき按分される。 C 一部検討の余地あり →      ・下水道等に接続可能な世帯の下水道等への接続が増加しない限り分担金の負担割合は減少しない。 D かなり検討の余地あり →      ・下水道区域内のし尿処理料金の割り増し等を行い、下水道への接続を促す。
その他	9. 現在の事業内容(サービス)に対して、対象の声やニーズを把握していますか	B	A アンケートなど具体的な方法で把握している      負担金額の決定は、各施設が属する議会で決定される。 B 日常業務の中で把握している → C 把握していない

**(7) 改革改善 [Action]**

今後の方向性(上記評価結果をもとに今後の方向性を記入します。) を一つチェックしてください。

- ア. 現状のまま継続する       イ. 見直しのうえで継続する       ウ. 終期設定       エ. 廃止       オ. 休止

〈今後の展開方針〉(イを選択した場合のみを一つチェックしてください)

- a 重点化する(コストを集中的に投入する等)
- b やり方を改善する(実施主体や実施の手段を変える)
- c 効率化を図る(コストを下げる)
- d 縮小する(簡素化する)
- e その他(別事務事業に統合する等)

(ウ・エ・オを選択した場合のみ記入してください)

時期(年度)

**事業改善の経過**

(事業改善をした内容と実施時期を記入します。)

**事業の方向性の具体化**

(誰が、何を、いつまでに、どうするか(5W1H)等の改革改善案を記入します。)

分担金は施設の利用割合に基づき算定されている。下水道等の水洗化を普及し、施設の利用割合を減少させる等の啓発が必要。

20年度予算見積書への反映  あり  なし

[反映内容]

**(8) 所属長 所見 (事務事業の総合評価及び今後の方向性について)**

(評価事務事業の責任者の意見として、総合的な評価に関する所見を記入します。)

事業を全くなくすることは出来ないが、今後は、下水道事業などと併せて検討していくことが必要となっている。

上位の施策の推進に貢献していますか。 をチェック

- A. 貢献度 大       D. 上位施策なし
- B. 貢献度 中
- C. 貢献度 小

(今後の方向性 を一つチェックしてください。)

- ア. 現状維持       イ. 見直しのうえで継続する       ウ. 終期設定       エ. 廃止       オ. 休止

➡  上記 a~e を選択